

慶應義塾大学商学部新保研

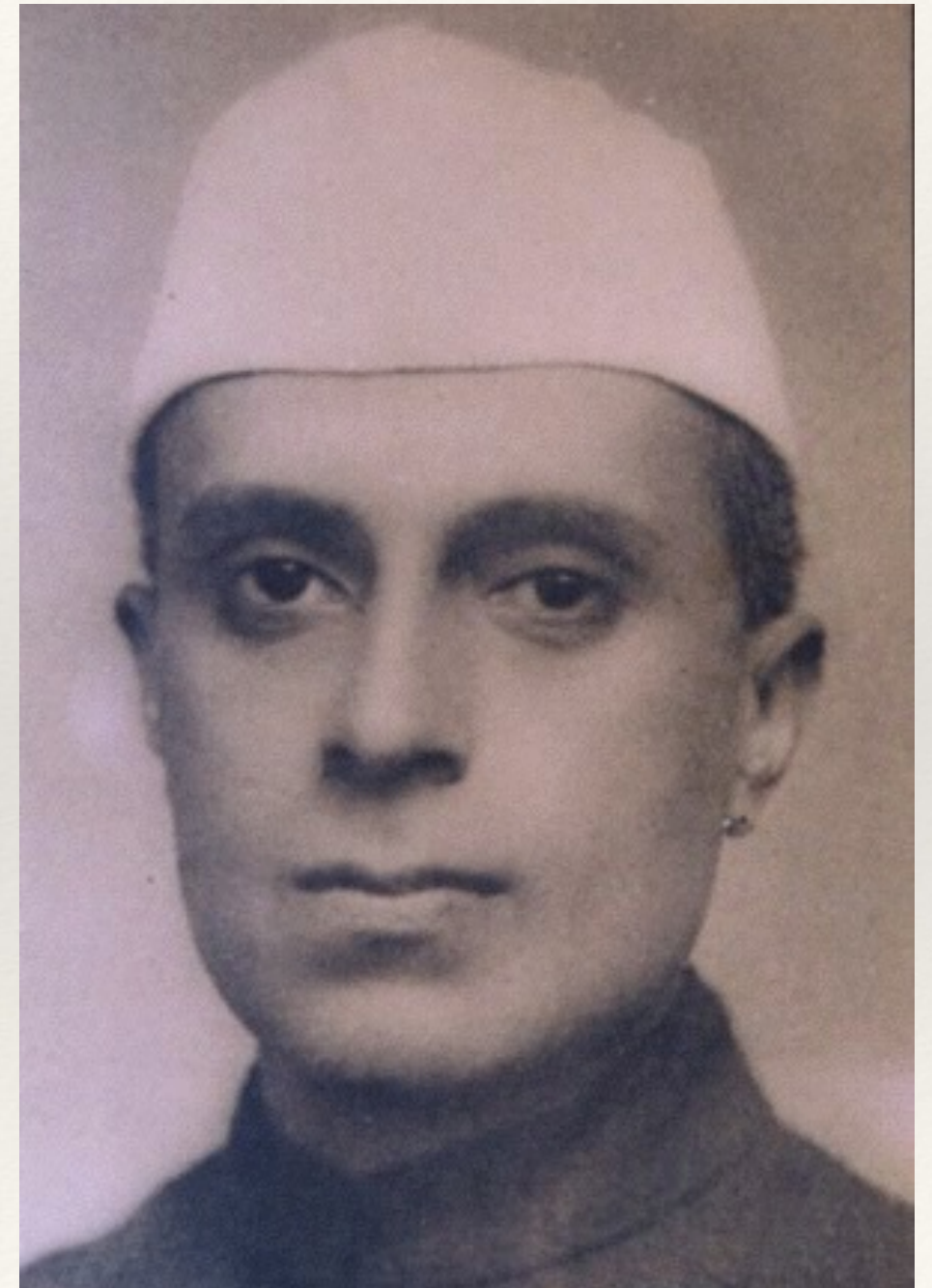
WHAT'S THE PROBLEMS?

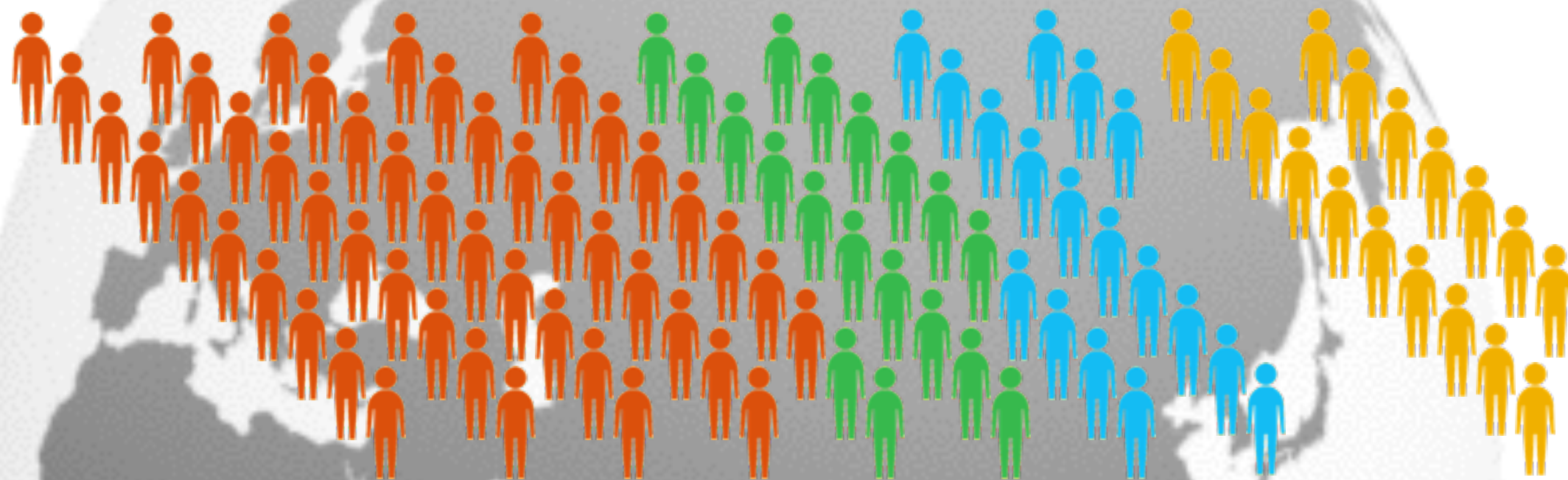
オープンゼミ @ 日吉J413

2013年11月29日（金） 5, 6限

Tryst with Destiny

• • • It means **the ending of poverty and ignorance and disease and inequality of opportunity**. The ambition of the greatest man of our generation has been to wipe every tear from every eye. That may be beyond us but as long as there are tears and suffering, so long our work will not be over.





More developed regions 17人



India 17人

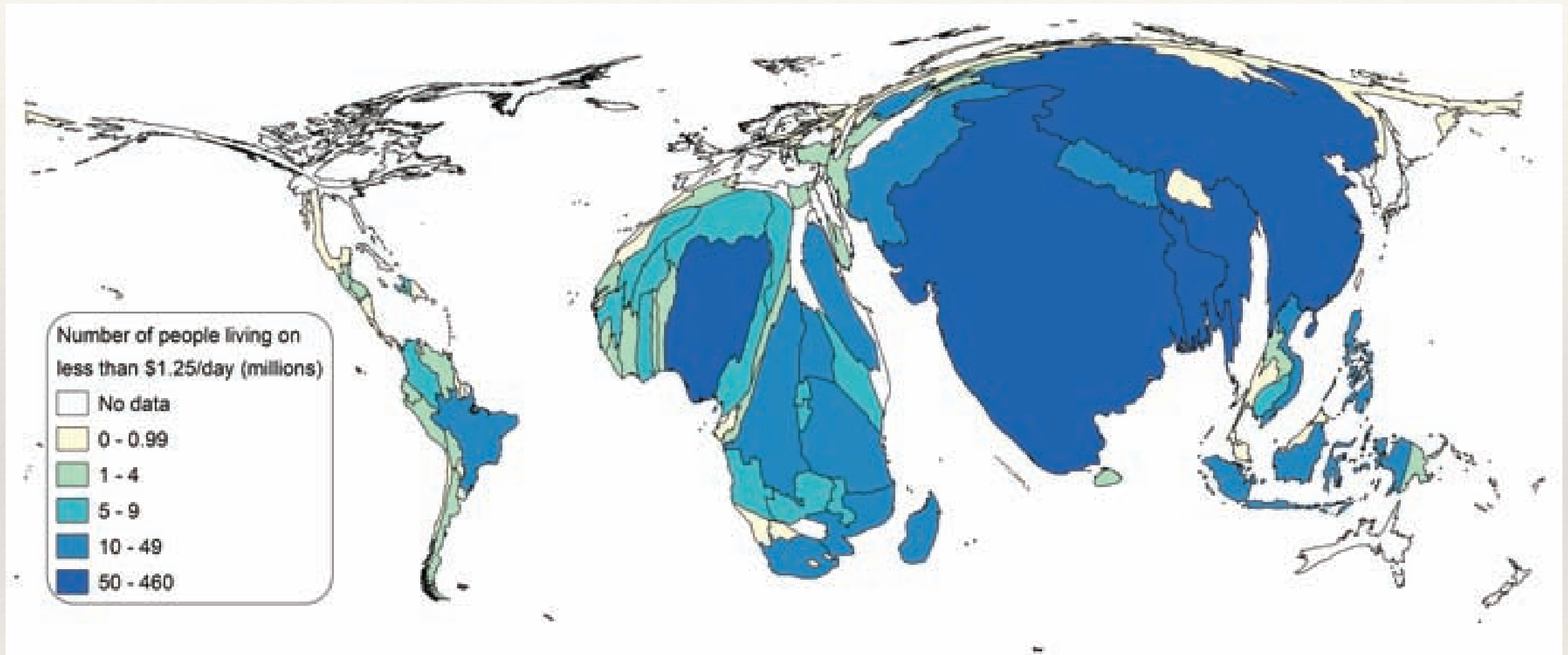


China 18人



Other less developed regions 48人

Number of people living on less than \$1.25/day



教育の機会

日本の学校制度		
小学校	6歳～	義務教育
中学校	12歳～	
高等学校	15歳～	95%
大学	18歳～	50%

インドの学校制度		
プライマリ	6歳～	ほぼ全員
ミドル	11歳～	プライマリを終了するのは半数程
セカンダリ	14歳～	70%
大学	18歳～	23%

農村の女性・女子には、学習・就労する機会に乏しい

- ❖ 農村では、電子レンジで「チン」して食べられるような便利な食べ物を口にできません。なんてたって、電気がないんですから・・・
- ❖ 朝，昼，晩の3度，材料から時間をかけて調理しなければなりません。
- ❖ 調理するための燃料，「薪」や「牛糞」を毎日毎日集めなければなりません。
- ❖ そのために1日に8時間を使います。だから，勉強する時間，働く時間を十分に取ることができません。
- ❖ それだけではなく，伝統的な厨房設備を使うことによる健康被害（室内公害）も深刻です。









अभियान

UNICEF

एक ठीक सपना,
अनापढ़ बन कभी न रहना।

टा पढ़ाना फर्ज है,
तो बेटी में क्या हर्ज है।

सब पढ़ें
सब बढ़ें।
शिक्षण





識字率

- ❖ 農村では，女性の55%，男性の36%が文盲。
- ❖ 都市でも，女性の31%，男性の20%が文盲。
- ❖ ただし，プライマリに入学する子供の数が増えているので，15歳から24歳にかぎると，女性の25%，男性の12%が文盲。



Caste and Untouchability



Caste and Untouchability



世界人権宣言

❖ 第22条 人間らしく生きる

人には、困った時に国から助けを受ける権利があります。また、人にはその国の力に応じて、豊かに生きていく権利があります。

❖ 第25条 幸せな生活

だれにでも、家族といっしょに健康で幸せな生活を送る権利があります。・・・母と子はとくに大切にされなければいけません。

❖ 第29条 権利と身勝手は違う

わたしたちはみな、全ての人の自由と権利を守り、住み良い世の中を作るための義務を負っています。自分の自由と権利は、ほかの人々の自由と権利を守る時にのみ、制限されます。

谷川俊太郎 訳

国際人権規約

- ❖ この規約の締約国は、自己及びその家族のための相当な食糧、衣類及び住居を内容とする相当な生活水準についての並びに生活条件の不断の改善についてのすべての者の権利を認める。締約国は、この権利の実現を確保するために適切な措置をとり、このためには、自由な合意に基づく国際協力が極めて重要であることを認める。
- ❖ この規約の締約国は、すべての者が飢餓から免れる基本的な権利を有することを認め、個々に及び国際協力を通じて、次の目的のため、具体的な計画その他の必要な措置をとる。
 - A. 技術的及び科学的知識を十分に利用することにより、栄養に関する原則についての知識を普及させることにより並びに天然資源の最も効果的な開発及び利用を達成するように農地制度を発展させ又は改革することにより食糧の生産、保存及び分配の方法を改善すること。
 - B. 食糧の輸入国及び輸出国の双方の問題に考慮を払い、需要との関連において世界の食糧の供給の衡平な分配を確保すること。

(11条)

Research Agenda

- ❖ インド農村家計におけるエネルギー転換は、健康問題を改善するばかりでなく、女子の時間の使い方を変化させることによって、教育機会および所得の稼得機会を創出する。
- ❖ 実際に所得が増加するためには、雇用機会の創出と人のモビリティを制限する慣習を取り除くことが大事である。
- ❖ 所得の増加は、教育への投資を加速させ、さらなる所得の増加が期待される。
- ❖ インドの経済発展は、特にエネルギーと食糧市場を通じて、日本のみならず世界経済に大きな影響を与え得る。地球環境保全および資源の希少性を考えるとき、開発途上国の持続的発展の方策を探ることは喫緊の課題である。
- ❖ みなさんの時代は、インドなど開発途上国が発展する時代であるとともに、日本は高齢化社会を迎える。世界を見渡しても、日本が近い将来に迎えるであろうような高齢化社会を経験した国はない。この二つの両極端が並存する時代に、みなさんはどのようなビジョンを持つか、それを経済学という道具でどのように切り込むか、それがみなさんに与えられた課題である。